

地域おこし協力隊員 集落支援員 が着任しました

2月1日、大島庁舎において、地域おこし協力隊員と集落支援員の委嘱状の交付式が行われました。

新たに地域おこし協力隊員となったのは兵庫県から来られた篠原哲夫さんと、地域資源を生かした観光振興を推進するため、(一社)周防大島観光協会スタッフとして、地域資源の活用や外国人観光客の誘致をはじめとするインバウンド業務など観光をテーマとした地域の活性化に取り組んでいきます。

また、初の集落支援員となったのは、長谷川樹子さんで、「やまぐち元気生活圏」づくりの取り組みを白木半島地域において実施し、二ホンアワサンゴなど豊かな自然環境を有する白木半島地域の特性を生かした地域の将来計画である夢プランの作成や実践など、地域を元気にしていくため住民と一体となって取り組んでいきます。

防災講演会を開催しました



▶「身の回りや地域で起こりうる災害を想定して日頃から備えを」と国崎さん

2月26日、県大島防災センターにおいて、周防大島町防災講演会を開催しました。講師に危機管理教育研究所代表の国崎信江さんをお迎えし、「来る地震から大切な人を守るため出来る事」と題してご講演いただきました。

国崎さんは「防災はまず自分の命や財産を守る」とし「自分の命を守ることが大変なはずはない。災害への備えを躊躇(ちゅうちゅう)することが一番危険」だと指摘。家具の転倒防止など、家庭での備えで自助の力を身につけることや、地域とのつながりを大切にするなどで、いざというときに適切な対応ができるなど「日頃の備えが地域の防災力を高めていくことになる」と話されました。



▶「ぜひ新しい視点で町の力に」と期待を込める椎木町長。町長を挟んで左が長谷川さん、右が篠原さん

柳井警察署長から感謝状

波止場から誤って海に転落した男性を救助したとして、2月16日、救助した3名に柳井警察署長から感謝状が贈られました。

感謝状を贈られたのは、油良の高橋潤さんと西方の山根一夫さん、森の片野博昭さんの3名で、1月末に下田漁港において、町外から釣りりに来ていた男性が海に転落しているのを航行中に発見し、海中から引き上げ無事救助されました。救助にあたった高橋さんは「無事助けられよかったです」とおっしゃっていました。



▶越口和幸柳井警察署長(右)から感謝状を贈られた(左から)高橋さん、山根さん、片野さん

第10回植樹祭「桜美観の森」

2月27日、西三浦の瀬戸で植樹祭が開催され、三浦小と明新小の児童をはじめ、蒲野保育所の園児、地域の方々や関係者など約200名が参加し、桜の苗木30本を植樹しました。

植樹祭はボランティア団体「美しい三浦を創る会」の主催で毎年行われているもので今回が10回目。

今回の植樹は、大島大橋のたもとから約300m付近で国道沿いの荒地となっていた場所で、美しい三浦を創る会のメンバーが植樹できるようにきれいに整備。この場所は「桜美観の森」と名付けられ、桜の新名所として期待がふくらみます。



▶椎木町長も子供たちと植樹を行いました